

目次

★	発生動向総覧	P 1～2
★	感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P 3
★	指定届出機関からの特記事項欄コメント	P 3～4
★	全数把握感染症集計表	P 5
★	定点把握感染症集計表	P 6～10
★	定点把握感染症推移グラフ	P 11～15
★	定点把握感染症集計表（月報）	P 16～19
★	定点把握感染症推移グラフ（月報）	P 20～21
★	新型コロナウイルスのPCR検査等の状況	P 22
★	国内及び静岡県内の 季節性インフルエンザの流行状況	P 23～24
★	サル痘	P 25～26



発生動向総覧

《第8週コメント》3月2日集計分

県内のインフルエンザの定点当たり報告数が3.01となり、先週の3.23から微減、第1週の3.19以降、3～5の間で横ばいの状況です。

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（1）、富士（2）、静岡市（1）、浜松市（1））
- 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症（西部（1））
- 4 類感染症 レジオネラ症（中部（1））
- 5 類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（静岡市（1）、浜松市（1））、
侵襲性肺炎球菌感染症（西部（1））、梅毒（中部（1）、西部（1）、
浜松市（4））

新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス（賀茂（61）、熱海（42）、東部（363）、御殿場（98）、富士（350）、静岡市（727）中部（389）、西部（538）、浜松市（629）、自己検査（185））

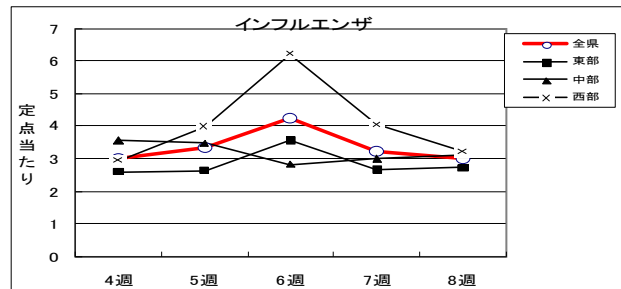
◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

令和5年第8週(2/20～2/26)の動向

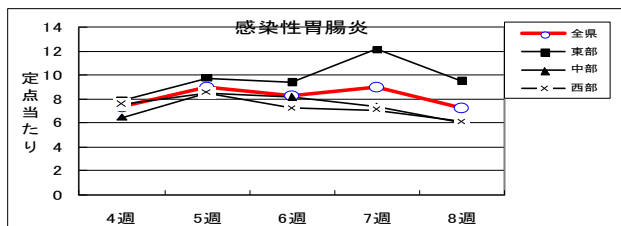
インフルエンザ

全県で罹患数418、定点当たり3.01の患者発生あり、前週の0.93倍とわずかに減少したが、東部及び中部地区は1.02、1.04倍と増加、西部地区のみ0.79倍と減少した。定点当たり東部地区で2.72、中部地区で3.12、西部地区で3.21の発生あり。西部地区の減少著しく、3地区の発生は平準化している。保健所別では御殿場HCが前週比0.985倍と減少したものの、依然13.50で注意報レベルを維持している。また、熱海HCは0.17で前週から著しく減少し、流行の指標を下回った。



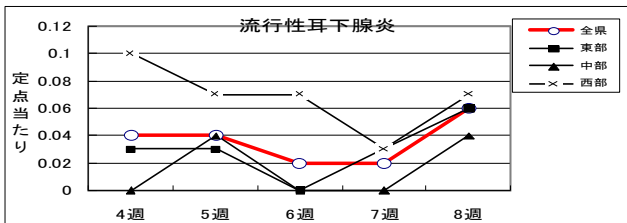
感染性胃腸炎

全県で罹患数650、定点当たり7.30の患者発生あり、前週の0.81倍と大きく減少した。定点当たり東部地区で9.53、中部地区で6.00、西部地区で6.10の患者発生、3地区全てで0.78、0.81、0.86倍と減少したが、保健所管内では御殿場HC(22.50)が前週比0.89倍と減少したものの県内唯一警報レベルを継続している。



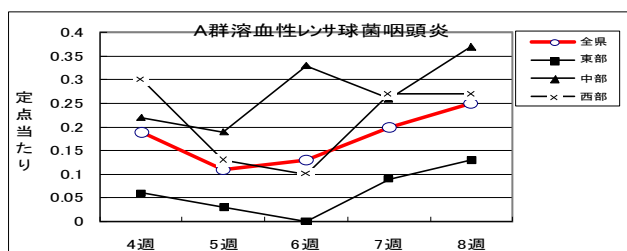
流行性耳下腺炎

全県で罹患数5、定点当たり0.06の患者発生あり、前週の3倍に増加し、3地区全てで前週より増加となった。定点当たり東部地区で0.06、中部地区で0.04、西部地区で0.07の患者が発生した。R3年同期より患者発生は多い。全国で警報・注意報レベルの都道府県はないが、本県でこのまま増加傾向が続くか注視が必要。



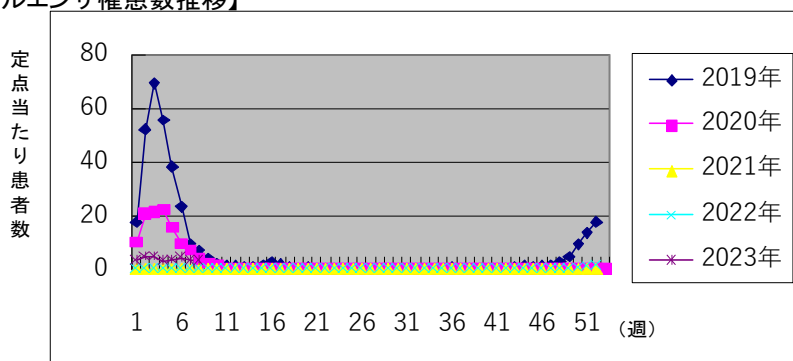
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

全県で罹患数22、定点当たり0.25の患者発生で前週の1.25倍と増加した。地区別では東部及び中部地区が増加、西部地区は前週と変化なし。定点当たり東部地区で0.13、中部地区で0.37、西部地区で0.27の患者発生あり、東部地区で1.44倍、中部地区で1.42倍と増加率はほぼ同値。全国では京都府、福岡県、長崎県が警報レベルの保健所を有している。



- ・風疹、麻疹とも患者発生なし。
- ・患者発生がないのは伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ及びロタウイルスによる感染性胃腸炎の4疾患でヘルパンギーナが追加。
- ・全国のインフルエンザの発生は11.32で前週の0.90倍と減少したが、41都道府県が注意報レベル、20都道府県が警報レベルに達しており、流行状況は横ばいといえる。近隣1都5県では注意報レベルに達したのは神奈川県(12.99)と長野県(11.07)で、東京都(8.53)は注意報レベルを脱し、愛知県(8.08)、山梨県(3.37)、岐阜県(3.08)は注意報レベルに至っていない。本県東に接する神奈川県の動向が感染拡大に影響を及ぼす可能性には注視が必要だが、全体的に動向は落ち着いている。
- ・第8週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)感染性胃腸炎、2)インフルエンザ、3)咽頭結膜熱、4)RSウイルス感染症、5)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、他に水痘及び流行性耳下腺炎の報告数が増加した。
- ・全国では、インフルエンザの他、咽頭結膜熱(警報:2)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報:3)、感染性胃腸炎(本県を含め警報:18)、水痘(警報:1, 注意報:3)、急性出血性結膜炎(警報:2)が警報又は注意報レベル保健所を有している。水痘(注意報)を除き前週より減少して、定点把握疾病の流行は落ち着いている。

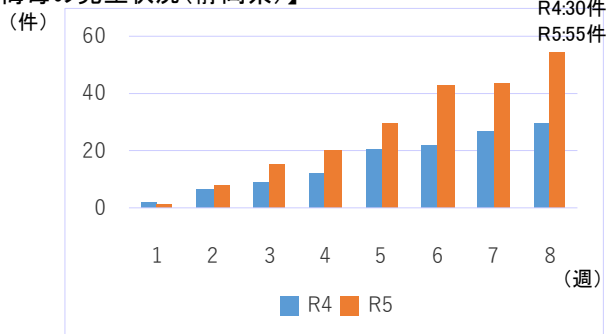
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2022/2023シーズン)】
(令和4年36週～令和5年8週)

		検体搬入数	A/H1 pdm09	A/H3	B/山形 系統	B/Victoria 系統
R4 36～52週	静岡県	9 (賀茂、熱海、西部)		7 (遺伝子)		
	静岡市	3		1 (遺伝子)		
	浜松市	0				
R5 1週		0				
2週	静岡県・浜松市	0				
	静岡市	1	1 (InfA(病院でのデータ))			
3週	静岡県	8 (東部HC:3, 中部HC:2, 賀茂HC:3)		7 (遺伝子) 東部3/3, 中部1/2, 賀茂3/3		
	静岡市	5		5 (遺伝子)		
	浜松市	0				
4週	静岡県	1 (賀茂HC)	検査中			
	静岡市	6		6 (遺伝子)		
	浜松市	1		1 (分離培養)		
5週	静岡県	2 (西部HC)		2 (遺伝子)		
	静岡市	1		1 (遺伝子)		
	浜松市	0				
6週	静岡市	2	2 (同定されず)			
	静岡県・浜松市	0				
7週	静岡市	1		1 (遺伝子)		
	静岡県・浜松市	0				
8週	静岡市	3		3 (遺伝子)		
	静岡県・浜松市	0				

【梅毒の発生状況(静岡県)】



・前年同期より患者報告数は多く増加スピードが速い、今後の動向が懸念される。

【全数把握疾病の発生状況(全国／静岡県)】

・全国で報告数が多い疾病は、順に1)梅毒(1937件)2)結核(1706件)3)侵襲性肺炎球菌及びカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(256件)4)レジオネラ症(204件)で、本県でも1)梅毒(55件)、2)結核(49件)、3)レジオネラ症及びカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5件)の順に報告が多く、全国と同様の傾向を示している。

◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警報 感染性胃腸炎 (御殿場)

注意報 インフルエンザ (御殿場)



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第8週 (令和5年2月20日～令和5年2月26日)

光ヶ丘小児科 (三島市)「インフルエンザA型 8名、ノロウイルス 4名、RSウイルス 2名、咽頭アデノウイルス 1名」

よざ小児科 (沼津市)「インフルエンザA型 3名」

安田内科小児科医院 (御殿場市)「インフルエンザA型 18名」

富士病院 (御殿場市)「インフルエンザA型 20名」

たうち小児科医院 (御殿場市)「インフルエンザA型 35名」

お八幡医院 (御殿場市)「インフルエンザA型 5名」

小川小児科内科医院 (富士市)「インフルエンザA型 16名」

田子浦クリニック (富士市)「インフルエンザA型 4名」

共立蒲原総合病院・内科 (富士市)「インフルエンザA型 2名」

むらまつファミリークリニック (藤枝市)「インフルエンザA型 1名 (4歳男児)」

あしだクリニック (焼津市)「インフルエンザA型 2名 (5歳女児1名、20歳以上男性1名)」

きもと小児科 (湖西市)「インフルエンザA型 14名」

市立御前崎総合病院 (御前崎市)「インフルエンザA型 1名 (7歳男児)」

鈴木小児科医院 (磐田市)「インフルエンザA型 2名」

総合病院聖隷浜松病院(小児科) (浜松市)「インフルエンザ 2名」
クリニックパパ (浜松市)「ヒトメタニューモウイルス感染症 2名(6～11か月女
 児1名、2歳女児1名)、インフルエンザA型 11名」
今西こどもクリニック (浜松市)「インフルエンザA型 7名」
総合病院聖隷三方原病院(小児科) (浜松市)「インフルエンザ 2名」
げんきこどもクリニック (浜松市)「インフルエンザA型 3名」
幸田子供クリニック (浜松市)「インフルエンザA型 2名」
たなか小児科 (浜松市)「インフルエンザ 7名」
天竜こども医院 (浜松市)「インフルエンザ 8名」
小児科竹内医院 (浜松市)「インフルエンザA型 1名」
小松診療所 (浜松市)「インフルエンザA型 6名」
縣医院 (浜松市)「インフルエンザA型 4名」
おおば小児科 (浜松市)「インフルエンザ 16名」
くまがいクリニック (浜松市)「インフルエンザA型 3名」
大竹内科医院 (浜松市)「インフルエンザA型 6名」
宮口こんどうクリニック (浜松市)「インフルエンザA型 15名」
すずしろクリニック (浜松市)「インフルエンザ 3名」
のずえ内科呼吸器クリニック (浜松市)「インフルエンザA型 4名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況(R4-R5 シーズン累計)

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	1,926名	97%
インフルエンザB型	62名	3%

静岡県の感染症週報は、組織改編に伴い感染症対策課において作成しています。

- ・引き続き、疾病対策課ホームページにより御覧いただけます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県							全国				
		3週	4週	5週	6週	7週	今週	年累計	5週	6週	7週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		6	4	5	7	2	5	49	179	217	205	161	1,706
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
新型コロナウイルス		27,564	17,713	12,354	8,575	5,553	3,382	158,704	280,344	204,646	141,581	94,034	3,885,507
コレラ													
細菌性赤痢											1		2
腸管出血性大腸菌感染症			1				1	4	13	10	18	16	140
腸チフス									2	3	1	1	11
パラチフス									1		1		2
E型肝炎				1				1	6	9	12	10	83
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									2	1	3		10
エキノコックス症										1			3
糞熱													
オウム病											1		2
オムスク出血熱													
回帰熱													1
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													
サル痘									2	1	2	5	19
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群									1	1	1	1	5
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱													
つつが虫病										4	2		43
デング熱											3		7
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱									2			1	6
日本脳炎													
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア										1		1	4
野兔病													
ライム病													
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症		1			3	1	1	6	13	22	20	25	204
レプトスピラ症											1		2
ロッキー山紅斑熱													
アメーバ赤痢					3	1		4	10	6	11	4	67
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									2	5	6	4	33
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1		2	1	2	6	27	22	30	19	256
急性弛緩性麻痺									1		1		4
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)				1	1			5	5	6	6	6	67
クリプトスポリジウム症													
クワイツフェルト・ヤコブ病			1					1		1	2	3	20
劇症型溶血性レンサ球菌感染症								1	10	10	10	14	137
後天性免疫不全症候群					1	1		2	13	9	16	8	116
ジアルジア症		1			1			2		1	1	1	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症						1		2	1	4	4	2	42
侵襲性髄膜炎菌感染症													2
侵襲性肺炎球菌感染症						1	1	2	19	26	19	16	256
水痘(入院例に限る)				1				1	4	2	3	5	30
先天性風しん症候群													
梅毒		5	3	8	9	4	6	55	185	180	201	173	1,937
播種性クリプトコックス症					1			1	3	1	1	1	25
破傷風			1					1	3				6
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1		3	1	2	21
百日咳								1	9	12	11	11	81
風しん													
麻疹										1			1
薬剤耐性アシネトバクター感染症										2	2		5
新型インフルエンザ等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 8 週

	静岡県							全国				
	3週	4週	5週	6週	7週	今週	計	5週	6週	7週	今週	計
RSウイルス感染症	37	22	32	26	36	25	178	1,020	952	1,009	969	3,950
咽頭結膜熱	10	14	11	14	28	26	103	406	389	554	491	1,840
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	17	10	12	18	22	99	1,384	1,313	1,660	1,470	5,827
感染性胃腸炎	571	655	797	739	802	650	4,214	24,866	22,843	23,029	19,528	90,266
水痘	7	5	9	3	5	6	35	213	185	264	219	881
手足口病	2	2		2	1	1	8	293	264	242	206	1,005
伝染性紅斑	1	2		1			4	20	22	46	30	118
突発性発しん	12	17	21	21	21	12	104	697	676	686	611	2,670
ヘルパンギーナ		1		2	1		4	156	126	157	153	592
流行性耳下腺炎	4	4	4	2	2	5	21	96	91	96	81	364
インフルエンザ	634	418	465	589	449	418	2,973	62,583	63,786	62,101	55,873	244,343
急性出血性結膜炎								3	7	5	5	20
流行性角結膜炎	1		2	1	5	4	13	144	125	155	121	545
クラミジア肺炎(オウム病は除く)												
細菌性髄膜炎					1	1	2	3	7	8	8	26
マイコプラズマ肺炎		1					1	9	7	8	7	31
無菌性髄膜炎					1	1	2	12	9	10	8	39
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								4	4	10	7	25

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 8 週

	静岡県						全国			
	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	今週	第5週	第6週	第7週	今週
RSウイルス感染症	0.42	0.25	0.36	0.29	0.40	0.28	0.32	0.30	0.32	0.31
咽頭結膜熱	0.11	0.16	0.12	0.16	0.31	0.29	0.13	0.12	0.18	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.22	0.19	0.11	0.13	0.20	0.25	0.44	0.42	0.53	0.47
感染性胃腸炎	6.42	7.36	8.96	8.30	9.01	7.30	7.89	7.26	7.31	6.20
水痘	0.08	0.06	0.10	0.03	0.06	0.07	0.07	0.06	0.08	0.07
手足口病	0.02	0.02		0.02	0.01	0.01	0.09	0.08	0.08	0.07
伝染性紅斑	0.01	0.02		0.01			0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	0.13	0.19	0.24	0.24	0.24	0.13	0.22	0.21	0.22	0.19
ヘルパンギーナ		0.01		0.02	0.01		0.05	0.04	0.05	0.05
流行性耳下腺炎	0.04	0.04	0.04	0.02	0.02	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03
インフルエンザ	4.56	3.01	3.35	4.24	3.23	3.01	12.66	12.91	12.56	11.32
急性出血性結膜炎								0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.05		0.09	0.05	0.23	0.18	0.21	0.18	0.22	0.17
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
細菌性髄膜炎					0.10	0.10	0.01	0.01	0.02	0.02
マイコプラズマ肺炎		0.10					0.02	0.01	0.02	0.01
無菌性髄膜炎					0.10	0.10	0.03	0.02	0.02	0.02
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.01	0.02	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

感染症 8 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	25	0.28	26	0.29	22	0.25	650	7.30	6	0.07
賀茂							13	6.50		
熱海			2	0.50			13	3.25		
東部	3	0.23	3	0.23	4	0.31	137	10.54		
御殿場							90	22.50		
富士							52	5.78	1	0.11
静岡市	7	0.44	9	0.56	8	0.50	79	4.94	4	0.25
中部	5	0.45	2	0.18	2	0.18	83	7.55		
西部	6	0.50	4	0.33	2	0.17	53	4.42		
浜松市	4	0.22	6	0.33	6	0.33	130	7.22	1	0.06

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳 (全数報告)		ヘルパンギーナ	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	罹患数	定点当り
総数	1	0.01	0		12	0.13	0	1	0	
賀茂										
熱海										
東部					1	0.08		1		
御殿場					2	0.50				
富士	1	0.11								
静岡市					2	0.13				
中部					1	0.09				
西部					3	0.25				
浜松市					3	0.17				

保健所名	流行性耳下腺炎		インフルエンザ		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	5	0.06	418	3.01	0	0	0	0	89	50
賀茂									2	1
熱海			1	0.17					4	2
東部			23	1.15					13	7
御殿場	1	0.25	81	13.50					4	2
富士	1	0.11	31	2.07					9	6
静岡市	1	0.06	87	3.48					16	9
中部			44	2.59					11	6
西部	1	0.08	51	2.68					12	7
浜松市	1	0.06	100	3.57					18	10

*百日咳は、平成30年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更されました。

感染症 8 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		細菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		4	0.18	0		1	0.10	0	
賀茂										
熱海										
東部			1	0.25						
御殿場										
富士										
静岡市							1	0.50		
中部										
西部										
浜松市			3	1.00						

保健所名	無菌性髄膜炎		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	1	0.10	0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市	1	0.50		
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
—	1
—	1
4	1
—	
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

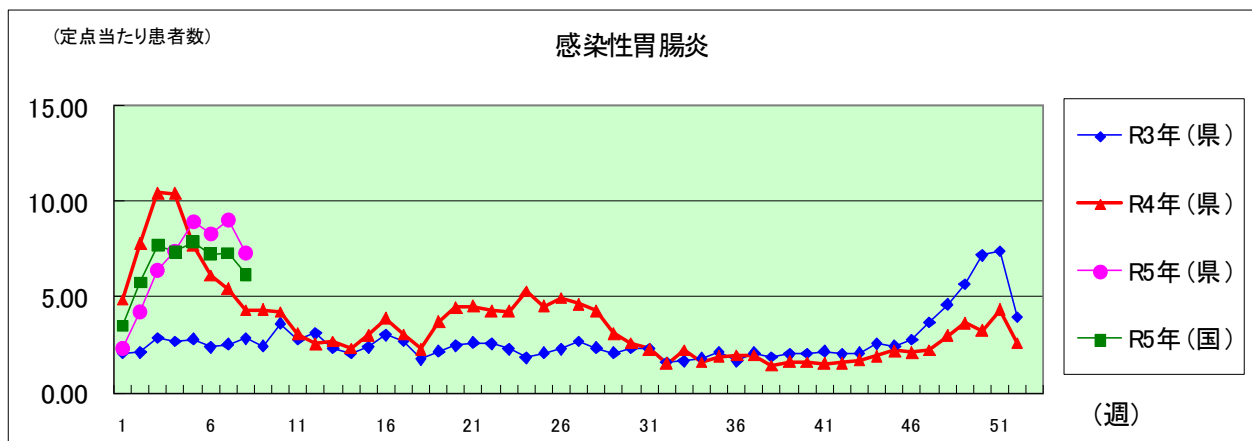
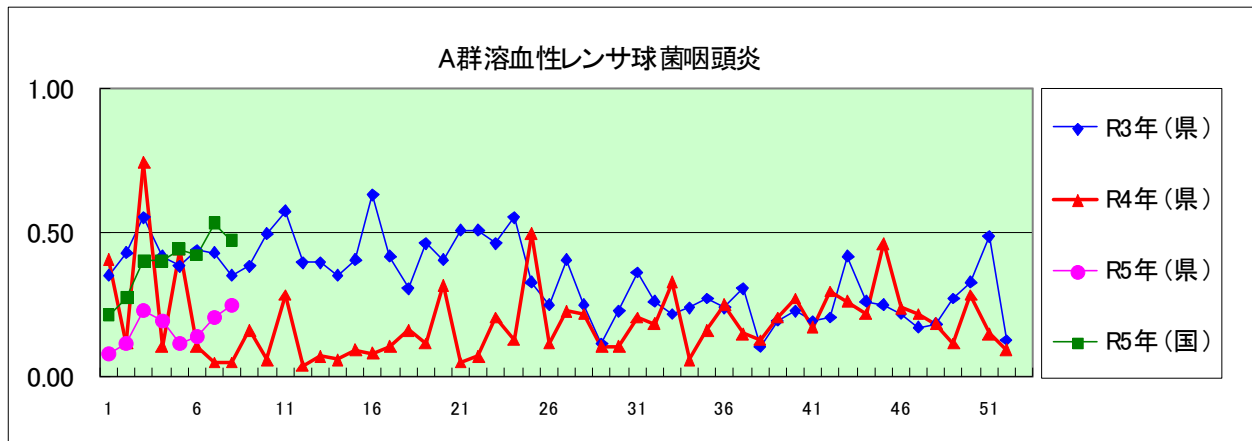
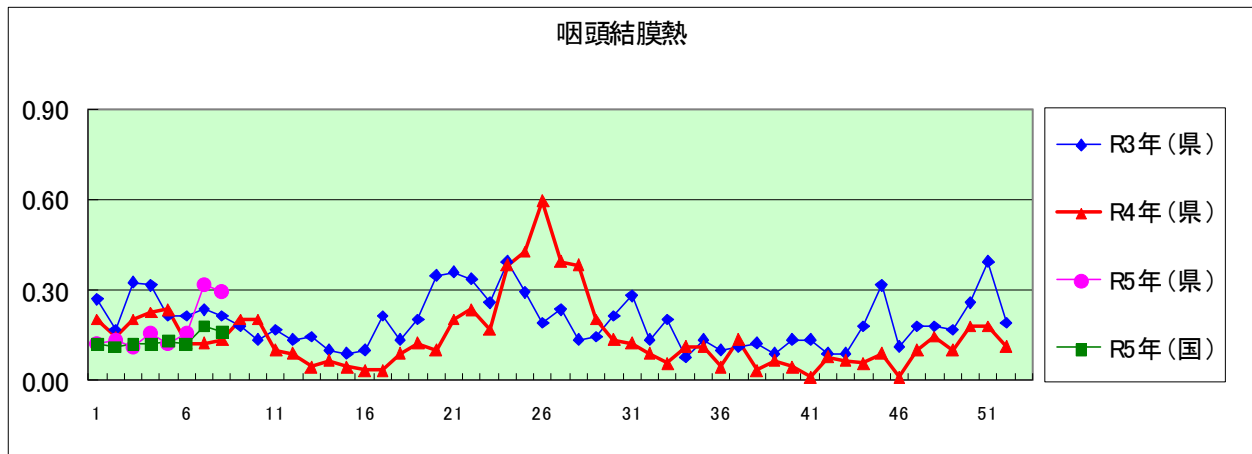
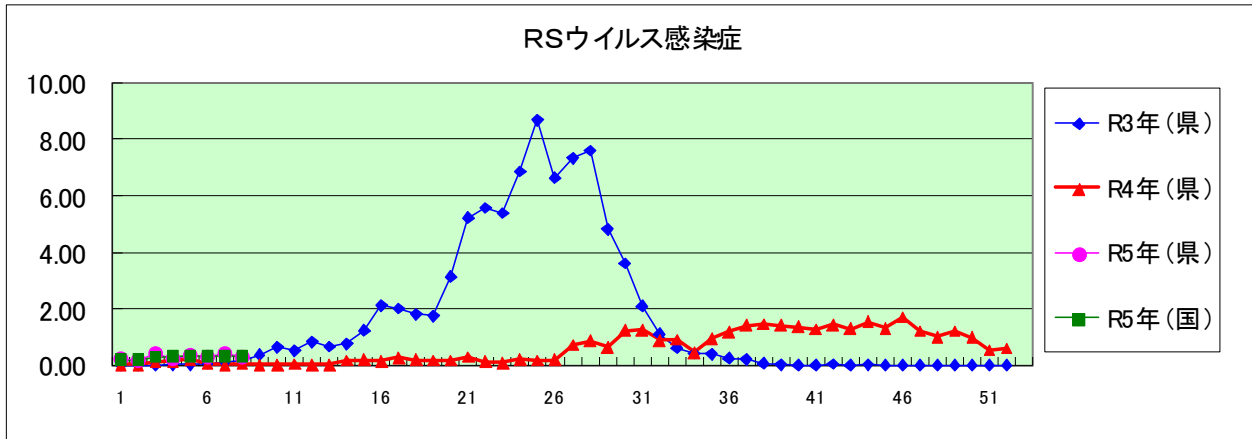
2023年 8 週

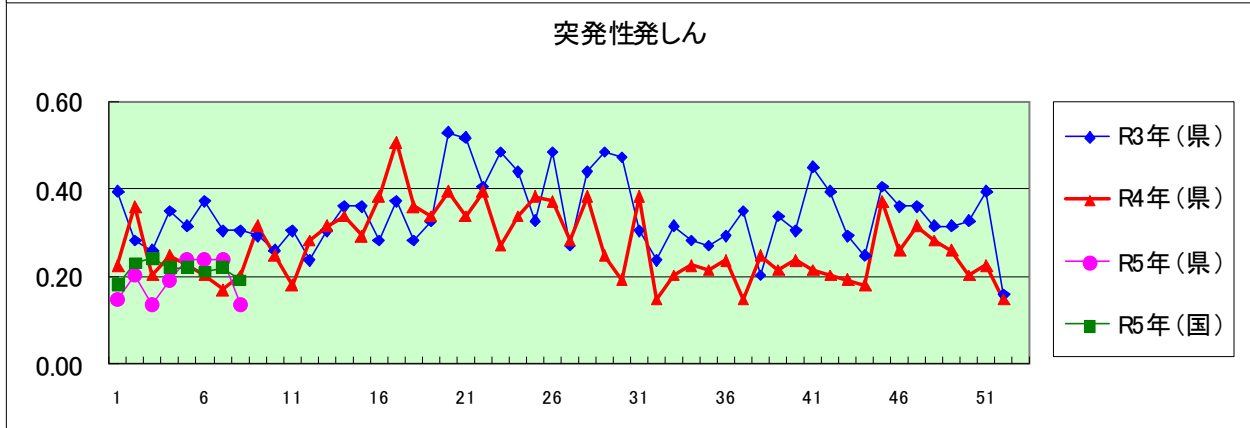
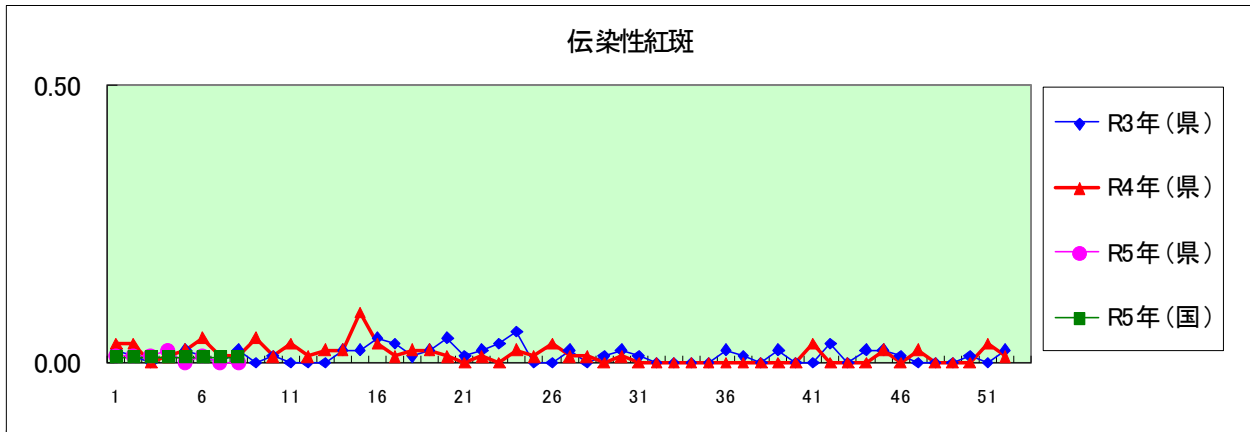
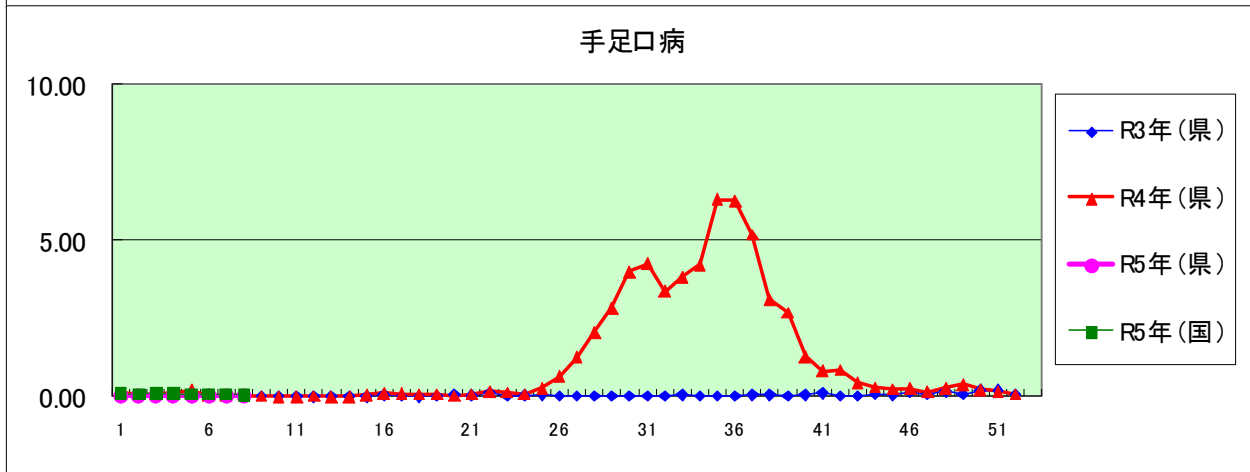
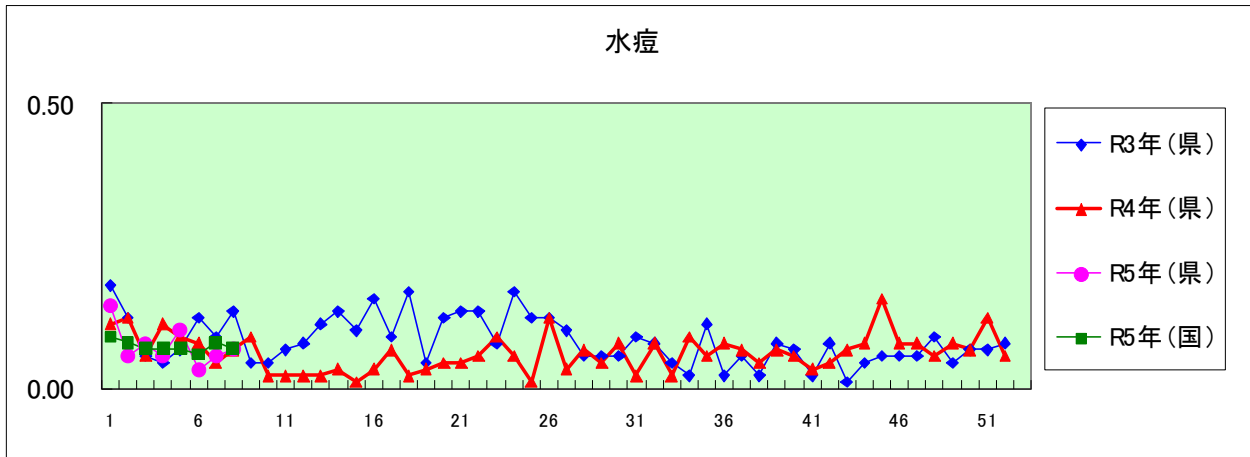
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	2	7	4	7	1	3		1													25
咽頭結膜熱		5	7	3	2	3	2	3				1									26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					5		2	3	5	1	3	2	1								22
感染性胃腸炎	3	22	101	87	84	79	59	51	26	25	17	51	6	39							650
水痘								1		2	2	1									6
手足口病			1																		1
伝染性紅斑																					
突発性発しん		3	6	2	1																12
ヘルパンギーナ																					
流行性耳下腺炎						2	2					1									5
インフルエンザ		3	14	11	27	32	25	48	29	25	20	93	25	9	21	19	10	6		1	418
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎					1									1		1	1				4
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																	1				1
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎							1														1
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

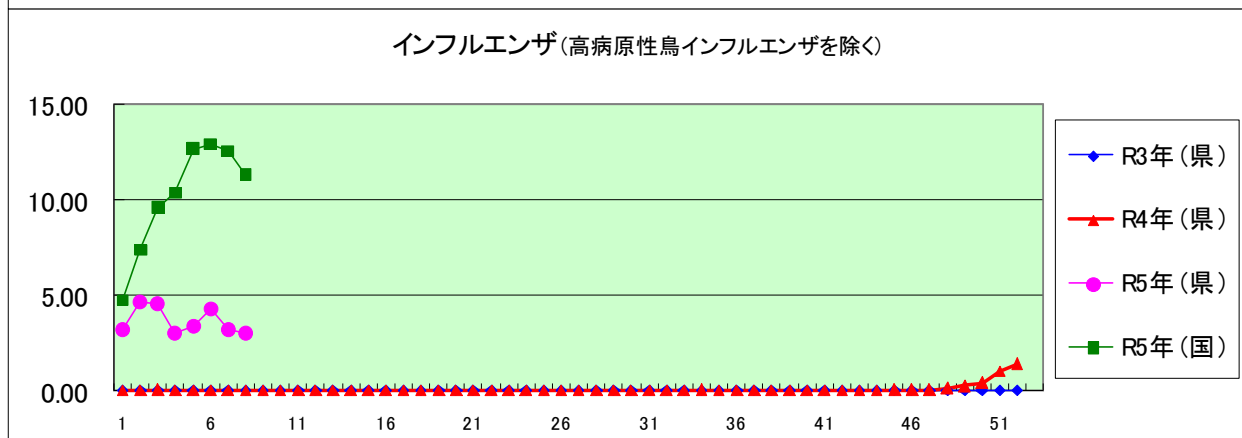
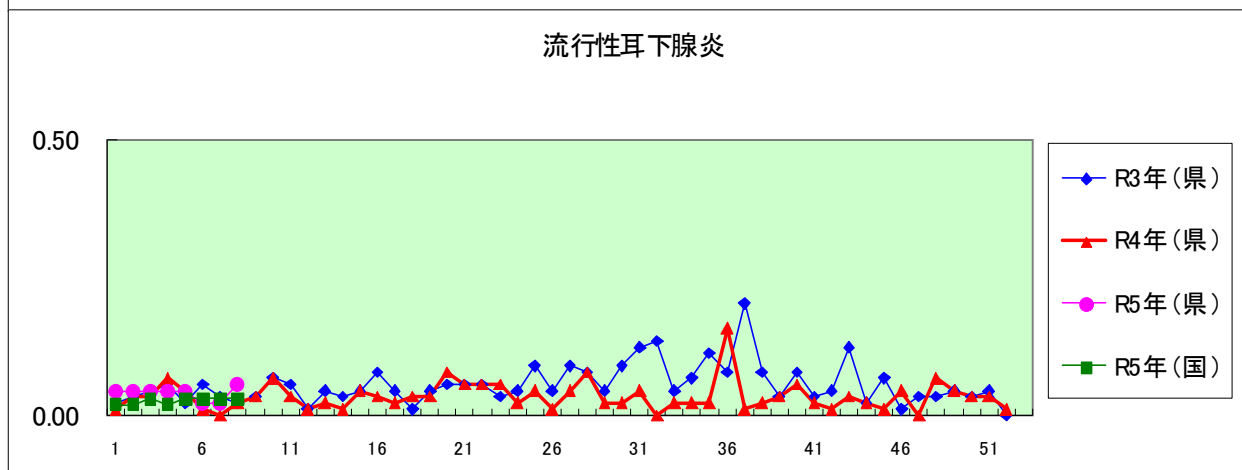
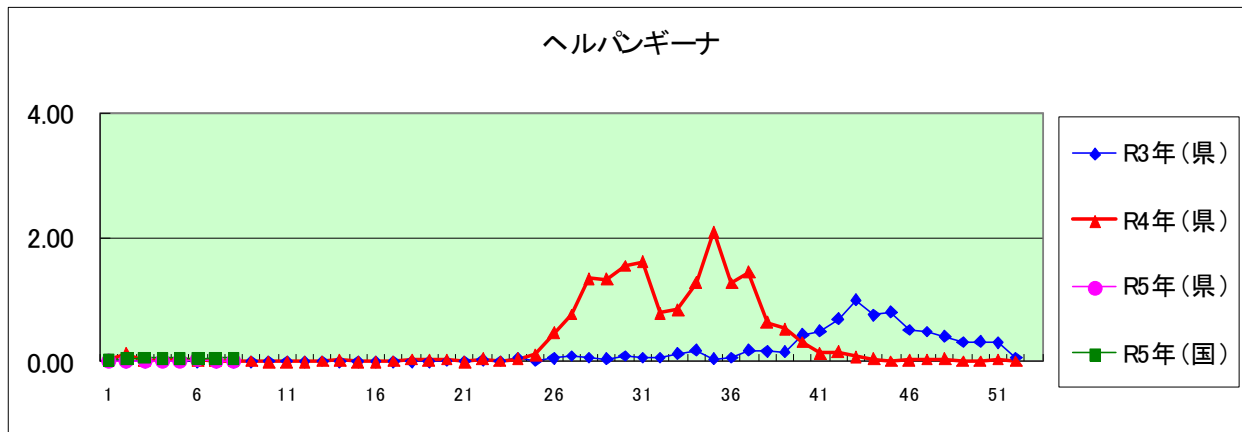
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 8 週

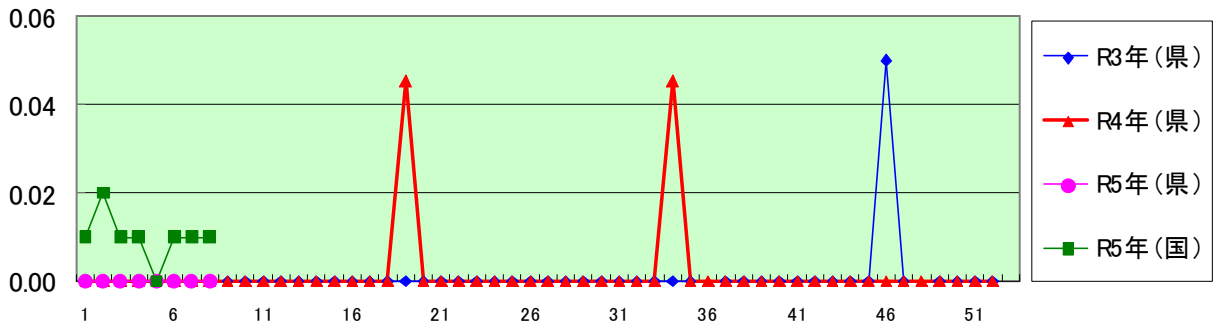
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.02	0.08	0.04	0.08	0.01	0.03		0.01													0.28
咽頭結膜熱		0.06	0.08	0.03	0.02	0.03	0.02	0.03				0.01									0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					0.06		0.02	0.03	0.06	0.01	0.03	0.02	0.01								0.25
感染性胃腸炎	0.03	0.25	1.13	0.98	0.94	0.89	0.66	0.57	0.29	0.28	0.19	0.57	0.07	0.44							7.30
水痘								0.01		0.02	0.02	0.01									0.07
手足口病			0.01																		0.01
伝染性紅斑																					
突発性発しん		0.03	0.07	0.02	0.01																0.13
ヘルパンギーナ																					
流行性耳下腺炎						0.02	0.02					0.01									0.06
インフルエンザ		0.02	0.10	0.08	0.19	0.23	0.18	0.35	0.21	0.18	0.14	0.67	0.18	0.06	0.15	0.14	0.07	0.04		0.01	3.01
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎					0.05									0.05		0.05	0.05				0.18
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																	0.10				0.10
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎							0.10														0.10
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					



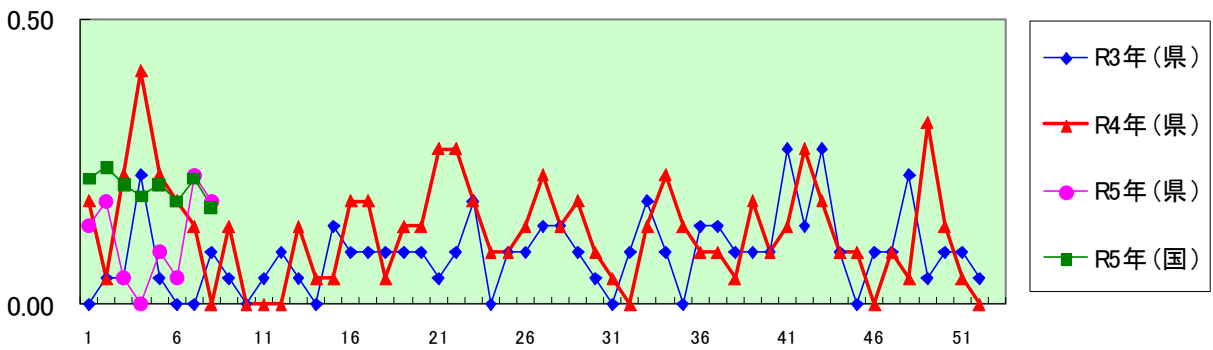




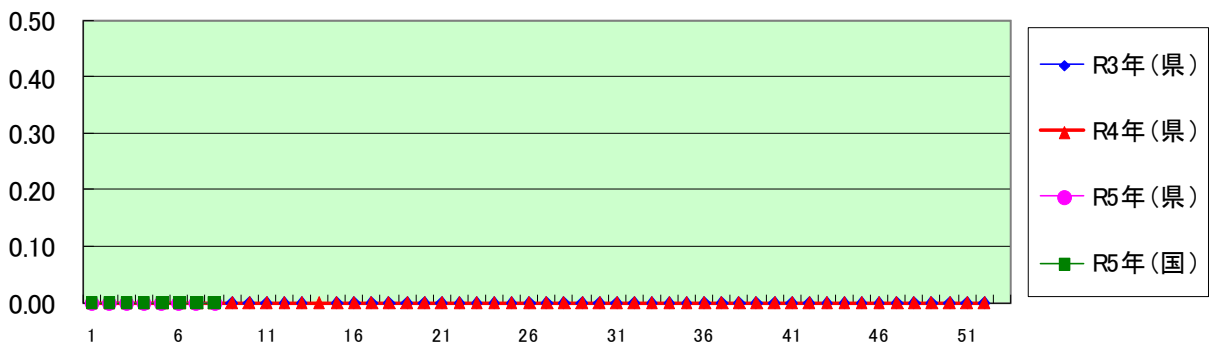
急性出血性結膜炎



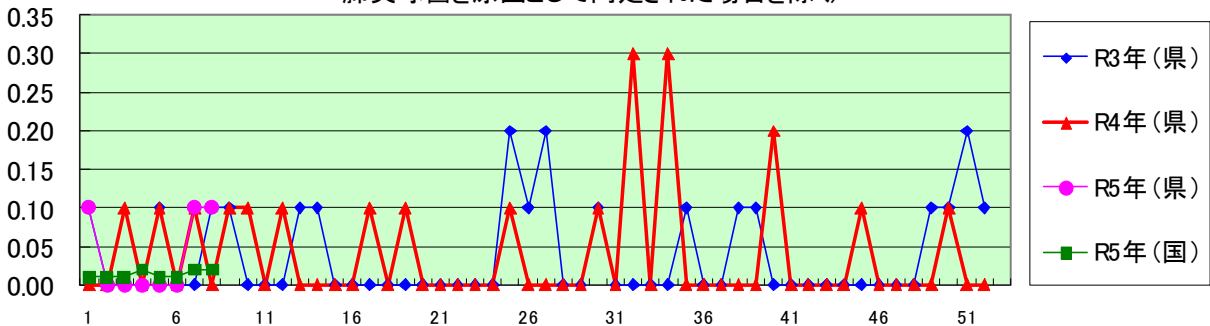
流行性角結膜炎

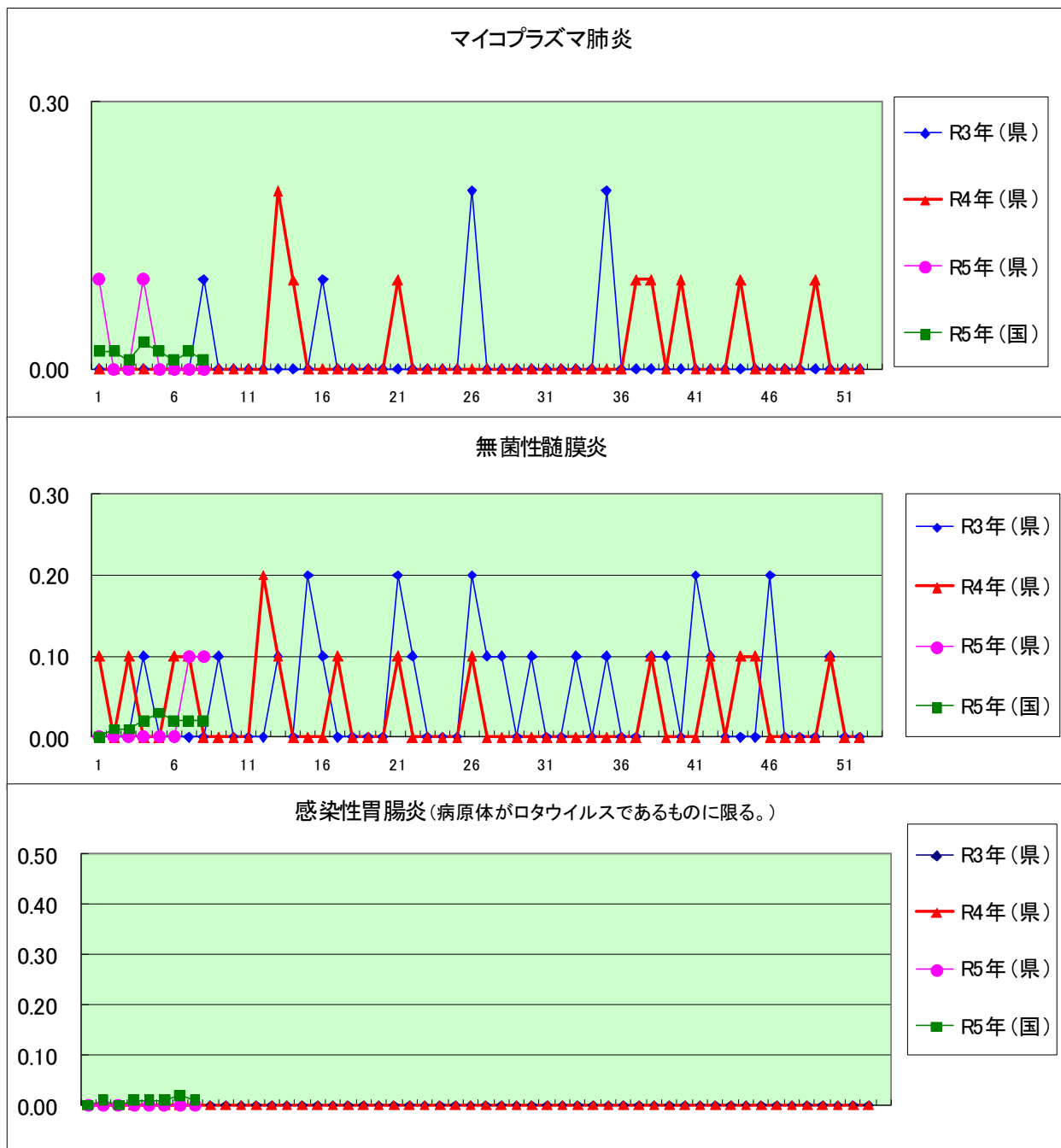


クラミジア肺炎(オウム病を除く)



細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)





定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 1 月

	静岡県							全国				
	8月	9月	10月	11月	12月	今月	計	10月	11月	12月	今月	計
性器クラミジア感染症	43	45	57	57	49	49	300	2,701	2,614	2,334	2,456	10,105
性器ヘルペスウイルス感染症	27	8	23	18	19	11	106	736	699	663	694	2,792
尖圭コンジローマ	7	9	18	11	6	10	61	517	580	483	500	2,080
淋菌感染症	10	14	16	11	11	18	80	903	833	755	843	3,334
性器クラミジア感染症(男)	14	10	16	21	18	16	95	1,419	1,346	1,173	1,330	5,268
性器クラミジア感染症(女)	29	35	41	36	31	33	205	1,282	1,268	1,161	1,126	4,837
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	11		14	5	5	4	39	300	252	239	265	1,056
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	16	8	9	13	14	7	67	436	447	424	429	1,736
尖圭コンジローマ(男)	2	3	8	6	3	6	28	342	400	337	326	1,405
尖圭コンジローマ(女)	5	6	10	5	3	4	33	175	180	146	174	675
淋菌感染症(男)	9	11	8	9	6	13	56	686	618	556	631	2,491
淋菌感染症(女)	1	3	8	2	5	5	24	217	215	199	212	843
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								79	89		71	239
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	20	14	15	18	10	13	90	1,225	1,225	1,210	1,457	5,117
薬剤耐性緑膿菌感染症								6	8		9	23

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 1 月

	静岡県						全国			
	8月	9月	10月	11月	12月	今月	10月	11月	12月	今月
性器クラミジア感染症	1.43	1.50	1.90	1.90	1.63	1.63	2.75	2.67	2.38	2.51
性器ヘルペスウイルス感染症	0.90	0.27	0.77	0.60	0.63	0.37	0.75	0.71	0.68	0.71
尖圭コンジローマ	0.23	0.30	0.60	0.37	0.20	0.33	0.53	0.59	0.49	0.51
淋菌感染症	0.33	0.47	0.53	0.37	0.37	0.60	0.92	0.85	0.77	0.86
性器クラミジア感染症(男)	0.47	0.33	0.53	0.70	0.60	0.53	1.45	1.37	1.19	1.36
性器クラミジア感染症(女)	0.97	1.17	1.37	1.20	1.03	1.10	1.31	1.30	1.18	1.15
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.37		0.47	0.17	0.17	0.13	0.31	0.26	0.24	0.27
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.53	0.27	0.30	0.43	0.47	0.23	0.44	0.46	0.43	0.44
尖圭コンジローマ(男)	0.07	0.10	0.27	0.20	0.10	0.20	0.35	0.41	0.34	0.33
尖圭コンジローマ(女)	0.17	0.20	0.33	0.17	0.10	0.13	0.18	0.18	0.15	0.18
淋菌感染症(男)	0.30	0.37	0.27	0.37	0.20	0.43	0.70	0.63	0.57	0.64
淋菌感染症(女)	0.03	0.10	0.27	0.07	0.17	0.17	0.22	0.22	0.20	0.22
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.17	0.19	0.17	0.15
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.00	1.40	1.50	1.80	1.00	1.30	2.58	2.57	2.54	3.05
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.01	0.02	0.01	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 1 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	49	1.63	11	0.37	10	0.33	18	0.60
賀茂								
熱海	1	1.00	1	1.00				
東部	7	1.40			2	0.40		
御殿場	1	1.00	1	1.00				
富士	4	1.33	1	0.33			3	1.00
静岡市	16	2.67	5	0.83	6	1.00	5	0.83
中部	9	2.25	2	0.50	1	0.25	6	1.50
西部	9	1.80					4	0.80
浜松市	2	0.40	1	0.20	1	0.20		

保健所名	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			13	1.30		
賀茂			3	3.00		
熱海						
東部						
御殿場						
富士			2	2.00		
静岡市			7	3.50		
中部			1	1.00		
西部						
浜松市						

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

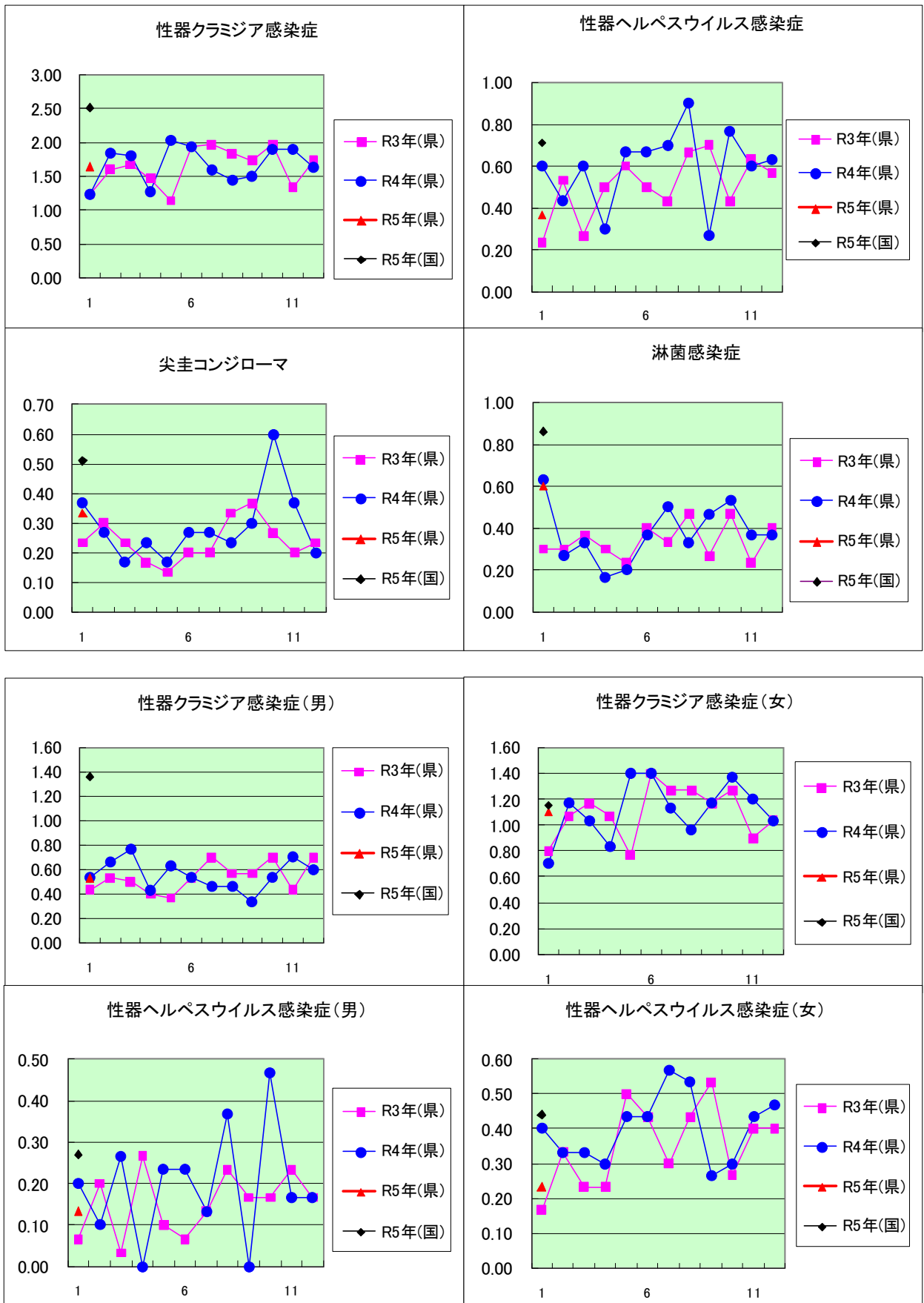
2023年 1 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					4	17	8	11	5	3				1			49
性器ヘルペスウイルス感染症						1	3	1		2	1	1	2				11
尖圭コンジローマ						2	1	1	1	2	1	2					10
淋菌感染症						7	6		3	1	1						18
性器クラミジア感染症(男)						7	1	4	2	1				1			16
性器クラミジア感染症(女)					4	10	7	7	3	2							33
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						1				1		1	1				4
性器ヘルペスウイルス感染症(女)							3	1		1	1		1				7
尖圭コンジローマ(男)						1	1	1	1				2				6
尖圭コンジローマ(女)						1				2	1						4
淋菌感染症(男)						4	4		3	1	1						13
淋菌感染症(女)						3	2										5
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症					1									1		11	13
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

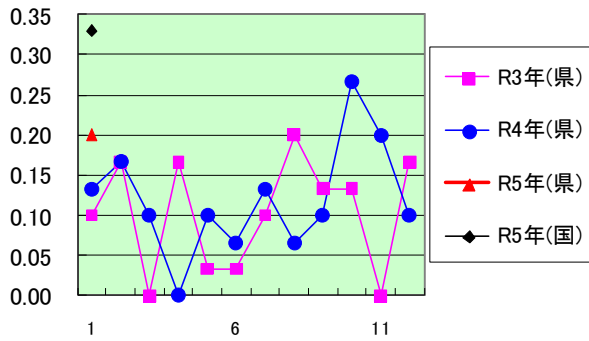
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 1 月

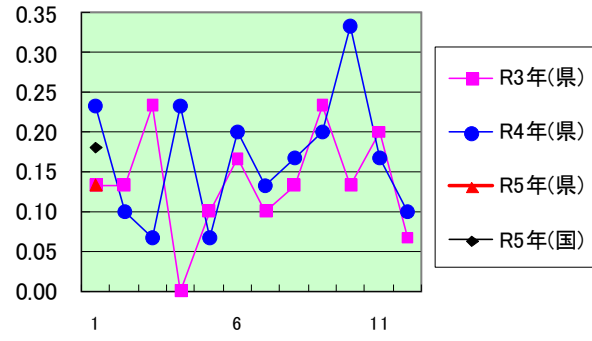
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.13	0.57	0.27	0.37	0.17	0.10				0.03			1.63
性器ヘルペスウイルス感染症						0.03	0.10	0.03		0.07	0.03	0.03	0.07				0.37
尖圭コンジローマ						0.07	0.03	0.03	0.03	0.07	0.03	0.07					0.33
淋菌感染症						0.23	0.20		0.10	0.03	0.03						0.60
性器クラミジア感染症(男)						0.23	0.03	0.13	0.07	0.03				0.03			0.53
性器クラミジア感染症(女)					0.13	0.33	0.23	0.23	0.10	0.07							1.10
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						0.03				0.03		0.03	0.03				0.13
性器ヘルペスウイルス感染症(女)							0.10	0.03		0.03	0.03		0.03				0.23
尖圭コンジローマ(男)						0.03	0.03	0.03	0.03			0.07					0.20
尖圭コンジローマ(女)						0.03				0.07	0.03						0.13
淋菌感染症(男)						0.13	0.13		0.10	0.03	0.03						0.43
淋菌感染症(女)						0.10	0.07										0.17
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症					0.10									0.10		1.10	1.30
薬剤耐性緑膿菌感染症																	



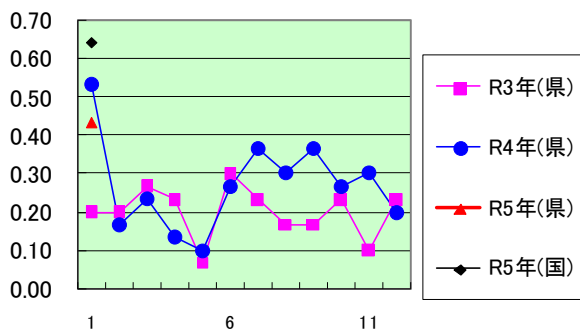
尖圭コンジローマ(男)



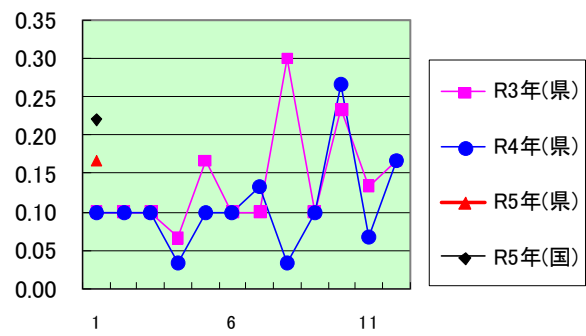
尖圭コンジローマ(女)



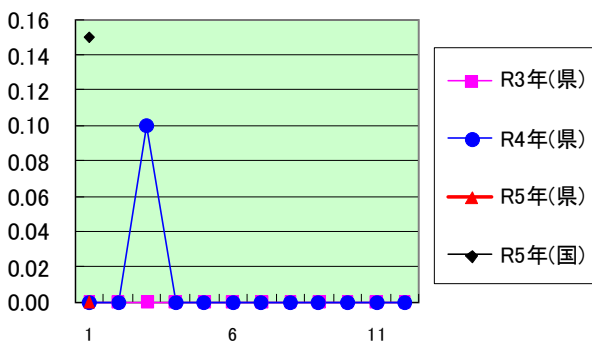
淋菌感染症(男)



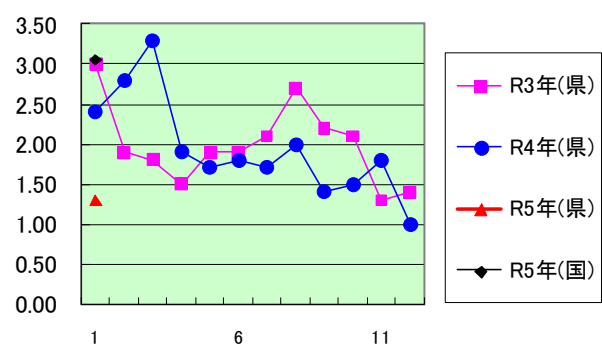
淋菌感染症(女)



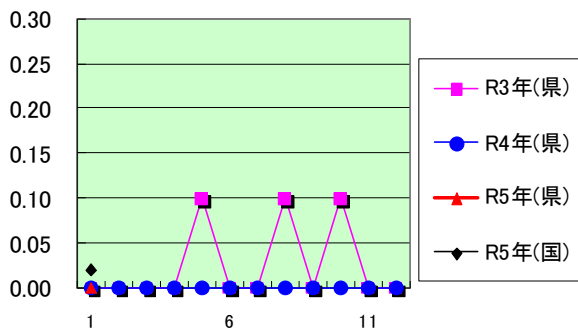
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



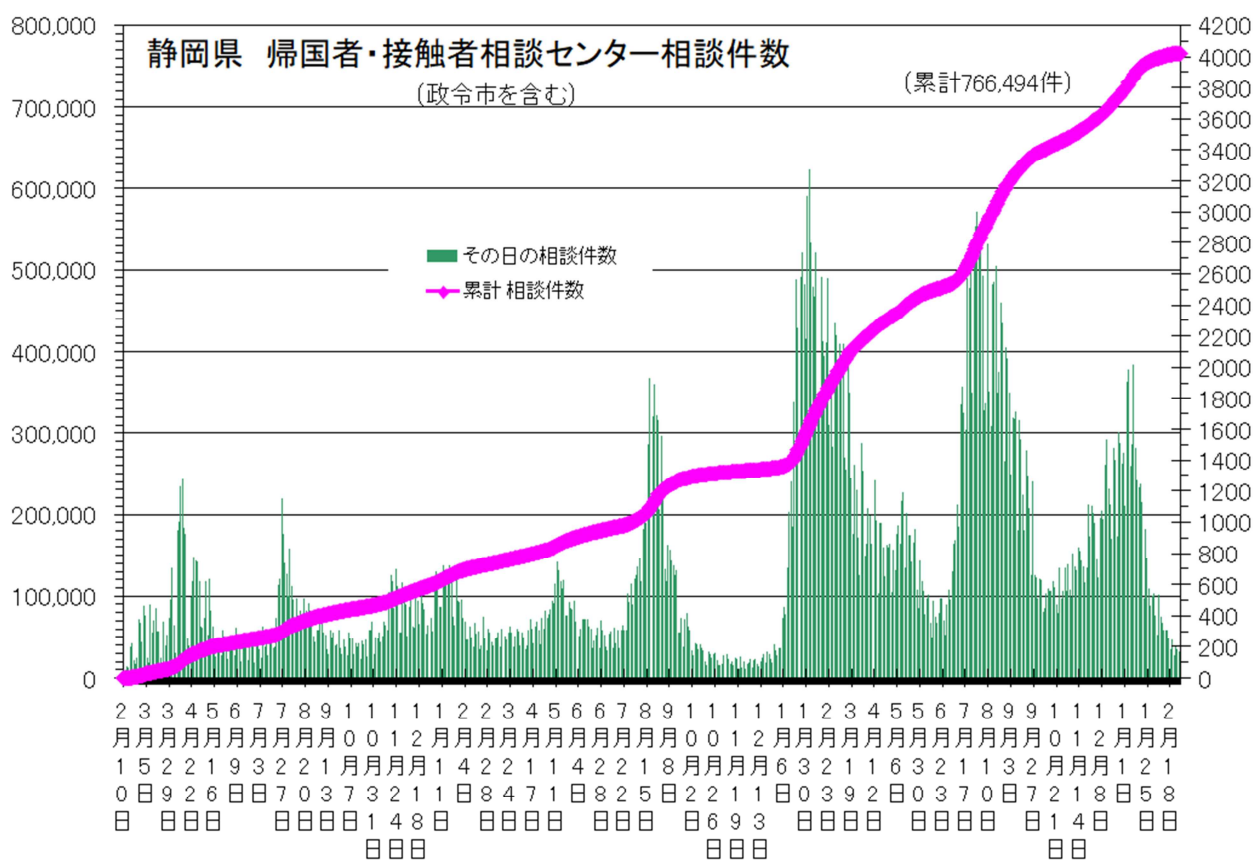
薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

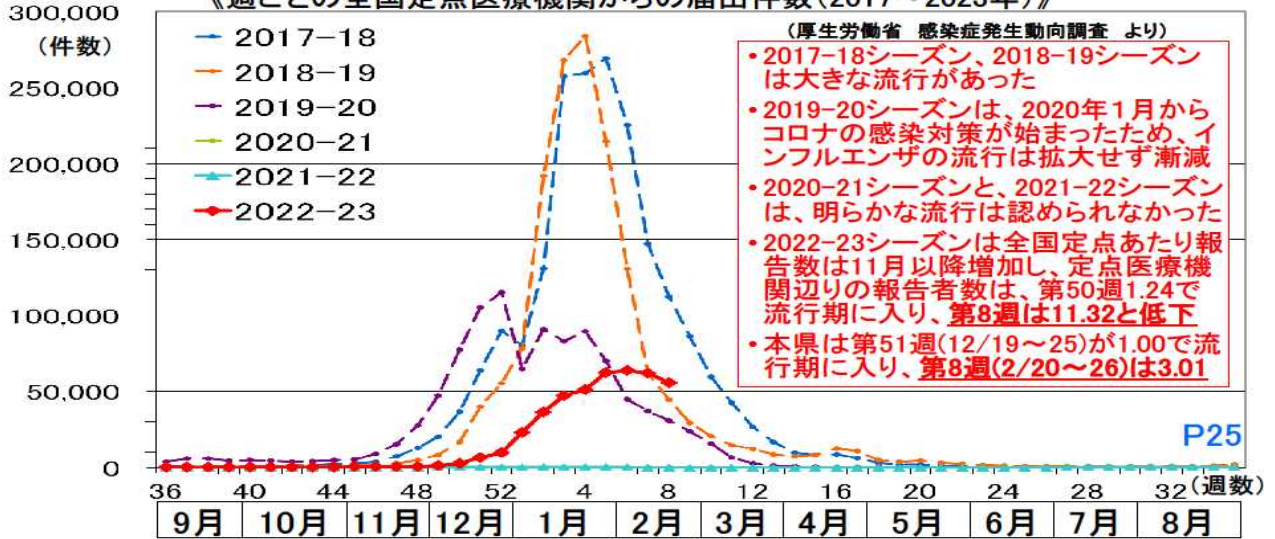
新型コロナウイルスに関するPCR検査状況等（令和5年3月1日時点）

項目	PCR・抗原検査実施者数	1週間の検査実施者数	PCR・抗原検査陽性者数	1週間の陽性者数	1週間の検査陽性率
2月22日 水	1,813		713		
2月23日 木	1,149		557		
2月24日 金	3,551		347		
2月25日 土	1,446	15,013	368	3,092	20.6%
2月26日 日	1,048		530		
2月27日 月	3,719		262		
2月28日 火	2,287		315		



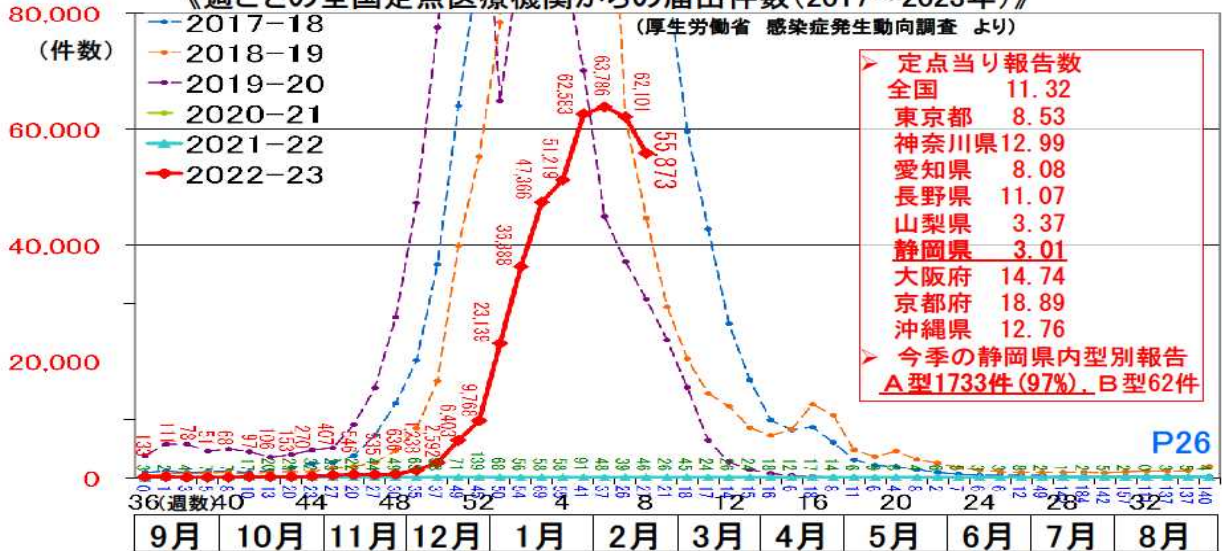
日本 今季のインフルエンザの流行状況(2/20~26 第8週時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2023年)》

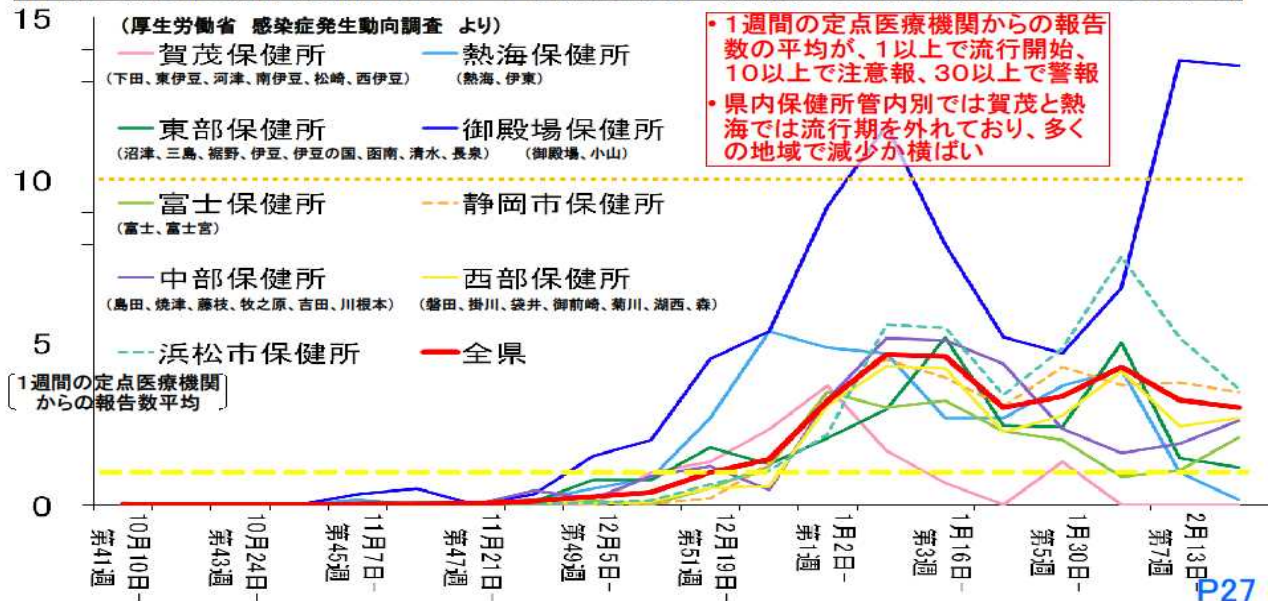


日本 今季のインフルエンザの流行状況(2/20~26 第8週時点)【拡大】

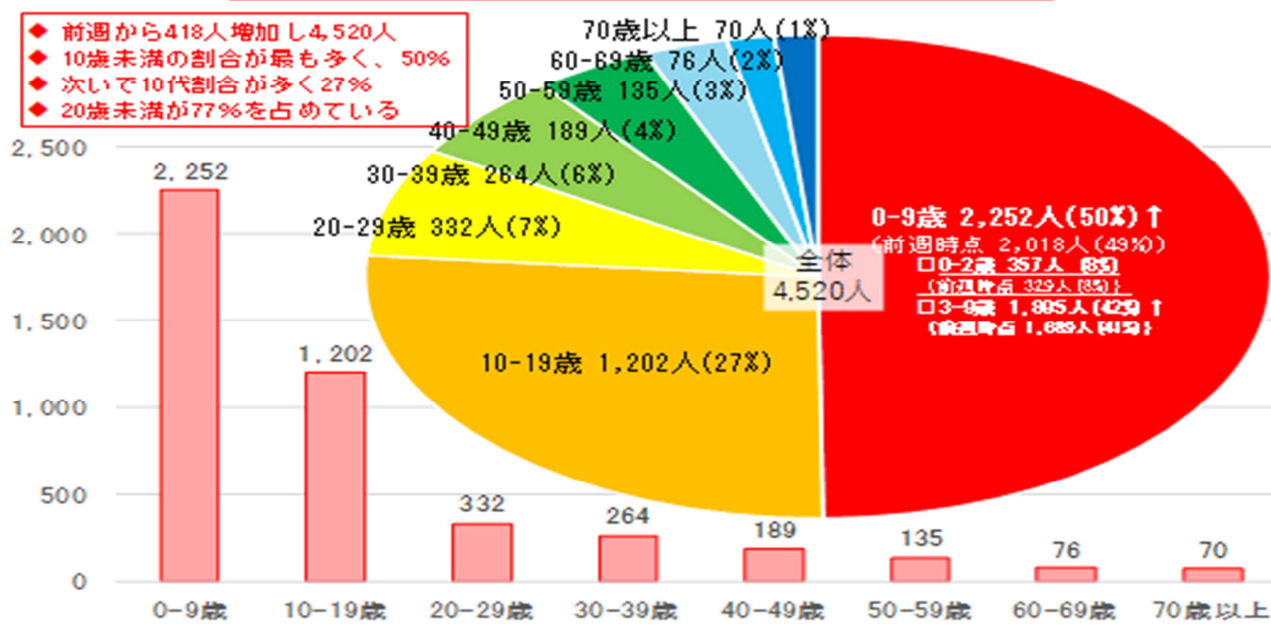
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2023年)》



静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数(2022.10/10~2023.2/26)



静岡県の今シーズンのインフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 2023年第8週(2/20-2/26)時点 (政令市含む全県)



☆県民のみなさまへ注意喚起

(1) 「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

(新型コロナウイルス対策と同じです)

- なるべく密を避けましょう
- こまめに手洗いをしましょう
- 人混みや会話時のマスク着用や咳エチケット（ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

(2) インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症にそなえて

- インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンのできるだけ早い接種を検討してください
- 発熱などの体調不良時にそなえて、解熱鎮痛薬、生活必需品（体温計、日持ちする食料（5～7日分）など）、新型コロナ抗原定性検査キットなどを早めに購入しておきましょう
- 発熱、頭痛、咳等の症状が出た場合にあわてないよう、かかりつけ医療機関、静岡県発熱等診療医療機関などの電話相談窓口を確認しておきましょう
- インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行による外来医療機関のひっ迫が懸念されていますので、企業や学校等は、従業員や児童等が体調不良で療養を開始する際に、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の検査結果を証明する書類や診断書を求めないように御配慮ください（復帰する際の検査の陰性証明や治癒証明も同様です）

サル痘

- ・サル痘は、サル痘ウイルス感染による急性発疹性疾患であり、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）では、四類感染症に指定されています。1970年にザイール（現在のコンゴ民主共和国）でヒトで初めて感染が確認された感染症で、中央アフリカから西アフリカにかけて流行しています。
- ・2022年5月以降、従前のサル痘流行国への海外渡航歴のないサル痘患者が欧州、米国等で報告されており、日本では感染症発生動向調査において、集計の開始された2003年以降、輸入例を含めサル痘患者の報告はありませんでしたが、2022年7月25日、東京都在住の方の感染が初めて報告されました（R5.2.28現在：国内27例）。

<感染経路・予防法等>

項目	内容
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ・サル痘ウイルスに感染した動物（リスなどのげっ歯類）の血液、体液、皮膚病変との接触による感染が確認されています。 ・主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面し、長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具やタオル等に触れた場合等により感染します。
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・潜伏期間は5～21日（通常7～14日）であり、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などが1～5日続いた後、発疹や水ぶくれが出現します（特に顔、口、手足、肛門、性器、お尻の発疹に注意）。 ・多くの場合、2～4週間持続し自然軽快するが、免疫力の低下している人では重症化するケースもあります。また、皮膚の二次細菌感染、気管支肺炎、敗血症、脳炎、角膜炎などの合併症をまれに起こすことがあります。
治療法	<ul style="list-style-type: none"> ・現在国が内服治療薬やワクチンを使用できるよう準備中です。
予防法	<ul style="list-style-type: none"> ・流行地では感受性のある動物や感染者との接触をさけることが大切です。 ・患者等が使用したりネン類や衣類に触れるときは、手袋などを着用して直接的な接触を避けること、触れた後に手洗いをするのが大切です。 ・発熱、発疹がありサル痘が疑われる場合、マスク着用、手指衛生を行うことが重要です。 ・また、天然痘ワクチンが有効（日本では1976年以降天然痘ワクチンの接種は行われていない）であるとの報告がなされています。
法令上の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症法において、全数把握対象（四類感染症）であり、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出なければならない。

県民の皆様へ

- ・サル痘は、サル痘ウイルスによる急性発疹性疾患です。主にアフリカ大陸に生息するリスなどのげっ歯類が自然宿主とされており、感染した動物に噛まれたり、感染した動物の血液、体液、皮膚病変（発疹部位）との接触による感染が確認されています。主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面し、長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染します。
- ・これまでアフリカ大陸の流行地域（アフリカ大陸西部から中央部）で主に発生が確認されていましたが、2022年5月以降海外渡航歴のないサル痘患者が欧米等を中心に世界各国で確認されています。
- ・サル痘の潜伏期間は7～14日（最大5～21日）とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0～5日続き、発熱1～3日後に発疹が出現、発症から2～4週間で治癒するとされています。
- ・発熱、発疹等、体調に異常がある場合には身近な医療機関に相談するとともに、手指消毒等の基本的な感染対策を行ってください。
- ・海外からの帰国された方で、体調に異常がある場合は、到着した空港等の検疫ブースで検疫官に申し出てください。帰国後に症状が認められた場合は、医療機関を受診し、医師へ海外への渡航歴を教えてください。
- ・なお、海外では、サル痘の予防に対しては、天然痘ワクチンが有効であるとの報告がなされており、ウイルスへの曝露後4日以内の接種で感染予防効果が、曝露後4～14日以内の接種で重症化予防効果があるとされています。天然痘ワクチンについては、国において十分な量の備蓄が行われています。

<関連情報>

- ・静岡県ホームページ（サル痘について）
<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/1040682/1024187.html>
- ・厚生労働省ホームページ（サル痘について）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html
- ・国立感染症研究所ホームページ（サル痘とは）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>